

ジュスチャーの大切さ

小学生サッカー 鈴木 幹太郎

ぼくが今回、外国に行つてまず感じたことが  
言葉が通じないことが、いかに大変かという  
ことです。日本で言葉が通じないことは、ふ  
つうに生活している、多くの人はないと思ひ  
ます。ですが外国に行つて、バスに乗つて、  
最初の放送から、何を言っているか分からな  
いし、韓国の本部の付きそいの人を、ずっと  
いっしょに行動していったのですが、2、3日  
たっても、なかなか何を言っているのか、何  
もしてほしいと思っているのか、ぼくはキャ  
プションだったので、列の一番前にいて、ずっ  
と付いてくれている人とも近くにいて、自分  
の名前も覚えてもらつて、すごく仲良くして  
もらつていて、ぼくも、少しでも、協力でき  
たらいいなと思つていました。しかし、日が  
過ぎていき、5日目の昼ごはんの時ぐらいに  
ずっと付いてくれている韓国の本部の人と通  
訳の人がいっしょに前にいたけど、こ

の時だけは、通訳の人だけ後ろに行き、そして、そこで、付いてくれていた人が、ぼくは何を言っているのか分からなかったけど、手で2を表して、井川君に何か言っていて、これまでも同じようなことがあったので、2列に並べたということだと思ったので、全員に伝えました。ここでぼくが思ったのが、生活だけでなく、スポーツにも、つながっているかなと思って、ぼくはサッカーで、試合前にしんぼんの人がボールやあくしずとジェスチャーを使って、分かりやすく、試合を進めていて、ジェスチャーの大切さを感じました。